

日本量子医科学会第1回学術大会

親子で！
学生さんも！

一般市民講演会

「量子」でがんを治す！ 最新治療のABC

いろんながんを治しちゃう「量子医科学」ってナニ？
第一線の研究者、ドクターが、分かりやすく説明します。

講演
1

量子とはなにか、量子ビームとはなにか
東 俊行（理化学研究所）

講演
2

陽子線治療の現状とその有効性
相部 則博（京都府立医科大学）

講演
3

重粒子線治療について
溝口 信貴（神奈川県立がんセンター）

司会
進行

唐澤 久美子（東京女子医科大学）
高橋 昭久（群馬大学）

令和3年

12月11日 土
15:00～17:00

Web開催 参加無料/事前申込



参加申し込みについて

右のQRコードまたは下記URLよりイベント登録ページに進み、
お名前とメールアドレスをご記入ください。

参加登録用URL <https://bit.ly/3FTv7Wi>

お申込み締め切り
令和3年12月9日(木)



主催：一般社団法人日本量子医科学会 後援：国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構

お問い合わせ

第1回学術大会事務局

〒135-0063 東京都江東区有明3-6-11TFTビル東館9階
株式会社プロコムインターナショナル内

TEL:03-5520-8821
Mail:contact@j-quams.org

一般市民講演会

「量子」でがんを治す！最新治療のABC

プログラム

量子とはなにか、量子ビームとはなにか。

あずま としゆき

東 俊行（理化学研究所）

量子ビームによる医学治療の基礎を理解するためには、量子力学を土台とした原子物理、原子衝突さらに化学反応に分類される知識が重要です。量子力学成立後すぐに開始された長い歴史をもつこれらの研究をわかりやすく説明するとともに、最先端の研究との繋がりを紹介します。



陽子線治療の現状とその有効性

あいべ のりひろ

相部 則博（京都府立医科大学）

陽子線治療は、粒子線の物理特性を活かした放射線治療であり、様々ながんに対して用いることができる有効ながん治療です。医学・医療とともに進歩する陽子線治療の現状とその有効性について分かりやすくお話しします。



重粒子線治療について

みぞぐち のぶたか

溝口 信貴（神奈川県立がんセンター）

日本人の2人に1人ががんと診断される現在、適切な治療法を見つける事は大変重要な課題です。がん治療の3本柱のひとつである放射線治療の中で、重粒子線治療はこれまでの放射線治療に比べてより副作用が少なく、よりがんを治す効果が高い治療であることが示されてきています。今回の市民公開講座では重粒子線治療の特徴と、治療の対象となる疾患についてわかりやすくお話をします。



ご参加に際して

- 本イベントはMicrosoft Teams を用いて配信します。
- パソコンやタブレット、スマートフォンなどの端末とインターネット環境が必要です。各自でご用意をお願いします。
- お申込みいただきましたら、12月9日(木)までにメールにて本イベントの接続用URLをご案内いたします。
- 一定数以上のお申込みがあった場合、早期に受付を締め切らせていただく場合がございます。
- 締切日を過ぎてからのお申込みにつきましては、接続方法をご案内できない場合がございます。お早めにお申込みください。
- 記録のため、事務局の方で開催中の講座を録音させていただきます。
- 参加者による録画・録音はご遠慮いただきますようお願い申し上げます。